

岐阜大学公開講座

岐阜大学医学系研究科・医学部
大学院連合創薬医療情報研究科

医療 マネジメント 講座

参加費
無料



地域医療連携の推進と診療情報等の 有効な活用を目指して

先進的な大学院の講義を皆様に公開します。

医療専門職及び地域医療連携システムに携わる方の参加を歓迎します。

日時 平成25年10月19日[土]
10:00～16:00

会場 岐阜駅前 岐阜大学サテライトキャンパス
岐阜スカイウイング37東棟4階

JR岐阜駅 北口より徒歩5分 岐阜県岐阜市吉野町6丁目31番地
お車でお越しの際は近隣の有料駐車場をご利用ください。
また混雑が予想されますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

定員 100名

プログラム

1 地域医療連携を支えるための 医療情報システムを考える

10:00
10:50

— 日本の医療事情と今後の医療情報システムの在り方 —

岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科長、医学系研究科医療情報学分野 教授
岐阜大学医学部附属病院 医療情報部長 紀ノ定 保臣

2 日本の地域医療を支援する ITイノベーション

11:00
12:00

— 自治医科大学が推進する地域医療データバンク —

自治医科大学地域医療学センター 地域医療学部門特命講師 藍原 雅一 氏

3 ICTを用いた 地域医療連携の有用性

13:00
14:00

— 医師会としての立場から —

長崎県医師会常任理事／あじさいネット理事・運営委員／
むたクリニック院長 牟田 幹久 氏

4 あじさいネット（長崎県地域医療連携システム）の 活用に関して薬剤師の視点からの報告

14:10
15:10

長崎県薬剤師会会長／あじさいネット理事
宮崎薬局 宮崎 長一郎 氏

5 意見交換会

15:20
16:00

1 地域医療連携を支えるための医療情報システムを考える

— 日本の医療事情と今後の医療情報システムの在り方 —

10:00
10:50

岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科長、医学系研究科医療情報学分野 教授/岐阜大学医学部附属病院 医療情報部長 **紀ノ定 保臣**

医療を取り巻く環境が、従前の医療機関完結型から地域完結型へと変化しつつある。また、地域医療の再生とこれを支える地域医療連携システムの運用が多くの地域で立ち上がり、成功を収めつつある。

本講演では、今後の地域医療連携システムを支える上で必要となる3つの要素（現状の把握、ICTの発展、目指すべき医療連携システムの役割と在り方）について私見を述べる。

2 日本の地域医療を支援するITイノベーション — 自治医科大学が推進する地域医療データバンク —

自治医科大学地域医療学センター 地域医療学部門特命講師 **藍原 雅一** 氏

11:00
12:00

自治医科大学地域医療学センターでは、今日の社会の多様なニーズに対応するため、保健、医療、福祉の各領域を従来の専門性の枠を乗り越え情報を統合することのできる環境を作り出すことを目指しています。次期の地域医療データバンクシステムは、時空ID（タグ）を利用することにより、今までの統合できなかった保健・医療・介護データをオブジェクト指向データベースにより、データの一元化することにより、地域医療の情報共有体制を構築しようとしている。

さらに、GIS(Geographic Information System)、IMES (Indoor Messaging System) を利用した地域医療支援システムの開発について概説する。

3 ICTを用いた地域医療連携の有用性 — 医師会としての立場から —

長崎県医師会常任理事/あじさいネット理事・運営委員/むたクリニック院長 **牟田 幹久** 氏

13:00
14:00

2004年10月から長崎県大村市を中心に始まったあじさいネットは、2013年にはほぼ長崎県全体に広がった。また、それと同時に、薬剤師、地域医療連携に係わる看護師等の多職種の参加も認められ、地域医療を行ううえでなくてはならないものとなりつつある。今回は、開設当初からあじさいネットの立ち上げ、運営に係わった者として、あじさいネットの仕組みを説明し、また、自身が開業医として日常診療を行ううえで、あじさいネットが非常に役にたった症例を揭示し、ITを用いた医療連携の有用性について知見を述べる。

4 あじさいネット(長崎県地域医療連携システム)の活用に関して薬剤師の視点からの報告

長崎県薬剤師会会長/あじさいネット理事/宮崎薬局 **宮崎 長一郎** 氏

14:10
15:10

院外処方せんの受け取り率は、65%を超え、そこに記載されている医薬品は、風邪薬から抗がん剤・免疫抑制剤といったハイリスクな医薬品まで多彩といえる。処方せんには、処方内容があっても、病名や処方量の決定に必要な血清クレアチニン値等は不明なまま調剤しているのが現状である。あじさいネットは、調剤における不足の情報を補完する極めて有効なツールとなっている。医師とは違った観点での運用となっている点に関して報告する。

5 意見交換会

15:20
16:00

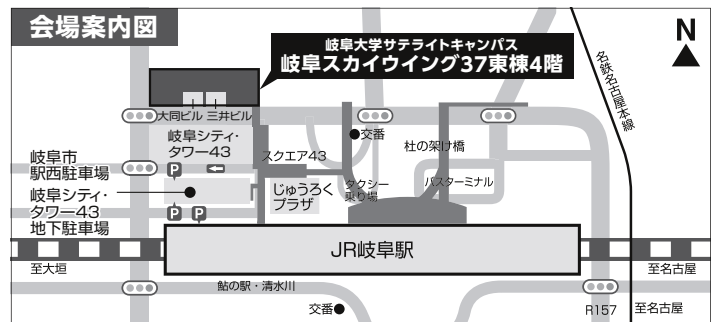


岐阜大学医学系研究科・医学部

医学系研究科・医学部は、人間、自然、社会、に対する豊かな感性と洞察力を持って教育・研究・臨床に邁進し、その理念の下に医学の基礎と高度な専門知識と技能を有する優れた人材を育成することを最大の使命とする。

岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科

本研究科は国際的に水準の高い創薬医療情報に関わる教育・研究の展開、多方面の学術情報の蓄積と発信をめざしています。特に高度専門職業人、技術者、研究者の育成と同時に、社会人のリカレント教育としての責務も担っています。



【アクセス】名古屋からJR東海道本線で約18分 大垣からJR東海道本線で約11分
 【駐車場】お車で越越しの際は近隣の有料駐車場、岐阜スカイウイング37中央部分【パーキング棟】立体駐車場(409台)または、アクティブG専用駐車場、岐阜シティ・タワー 43地下駐車場、岐阜市駅西駐車場をご利用ください。また混雑が予想されますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【主催】岐阜大学医学系研究科・医学部/大学院連合創薬医療情報研究科

【申込方法】①氏名②勤務先③所属④メールアドレスを記入の上、下記メールアドレスに申込みください。当日参加も可能です。

【お申込み・お問合せ】岐阜大学 連合創薬係 ☎058-230-7602 **E-mail : renso@gifu-u.ac.jp** **岐阜大学**

※事前の申込みがない方でも、席に余裕がある限り、当日参加を歓迎します。遠慮なくおこしください。※お知らせいただいた個人情報は、主催者において本企画に関わる事務処理以外には使用いたしません。